



プレスリリース

札幌商工会議所 定期景気調査（1月）の結果について

札幌商工会議所では、会員企業を対象に毎月各業界の業況等を調査し、景況把握に活用しております。

この度、2026年1月分調査を取りまとめましたので、ご報告いたします。

<調査概要>

- 調査内容：【毎月調査】 ①1月の業況と先行き見通し
【付帯調査】 ②昨年と比較した今年(2026年)の業況
③年度末に向けた資金繰りの状況
④次年度(2026年度)に向けた新卒採用の状況
※日本商工会議所 LOBO 調査と同様

○調査期間：2026年1月7日(水)～1月20日(火)

○調査対象：札幌商工会議所会員企業のうち743社

○有効回答数：343社

○調査結果概要：

- ①1月の業況と先行き見通し：全産業合計の業況DIは▲5.5と、前月から1.8ポイント改善。先行き見通しDIは▲5.2と悪化の見込み。
- ②2026年の業況見通しについて、「好転する」と回答した企業は18.7%、「変わらない」は52.2%、「悪化する」は19.8%となった。
- ③資金繰りの対応については「金融機関への相談を行った」が2025年1月調査から、4.2ポイント減の18.6%。「資金繰りの相談は現時点で必要ない」は同2ポイント増の68%となった。また、「資金繰りに不安はあるが、相談していない」は同2.2ポイント増の13.4%となった。
- ④2026年度の新卒採用（2026年4月入社）を「実施した」企業は39%と、2025年1月調査と比べ0.7ポイント減のほぼ横ばい。新卒採用を実施した企業のうち、「採用できなかった」企業と「採用できたが計画人数には満たなかった」企業を合計すると68.2%と、前回調査時と比べ、1.6ポイント減少したが、業種別にみると、建設業が前回調査時と比べ11.5ポイント増加と業種によって採用活動の厳しさが浮き彫りとなった。

※調査結果詳細は別添資料をご参照ください。

札幌商工会議所定期景気調査（過去の当所調査結果をご覧ください）

https://www.sapporo-cci.or.jp/web/purpose/10/details/post_51.html



日本商工会議所 LOBO 調査 <https://cci-lobo.jcci.or.jp/>

日本商工会議所では、各地商工会議所のネットワークを活用し、地域や中小企業が「肌で感じる足元の景況感」や「直面する経営課題」（採用、設備投資、賃金動向等）を全国ベースで毎月調査する「商工会議所 LOBO 調査」を実施し、その結果を集計・公表しています。



※LOBOとは「CCI (CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY) –QUICK SURVEY SYSTEM OF LOCAL BUSINESS OUTLOOK」（商工会議所早期景気観測）からとった略称。

<本件担当>

札幌商工会議所 企画広報部 企画課

TEL：011-231-1360 E-mail：kikaku@sapporo-cci.or.jp